

第一巻：吾妹子をはやみ濱風大和なる

原文：吾妹子乎 早見濱風 倭有 吾松椿 不吹有勿勤

作者：長皇子(ながのみこ)

よみ：吾妹子(わぎもこ)を、はやみ濱風(はまかせ)、大和なる、吾(わ)を待つ椿、吹かざるなゆめ

意味：私が妻を早く見たいと思うように吹く浜の風よ、大和で私を待っている椿、そして妻にとどくように吹いてくれ。



やまとなる  
倭有椿

年不詳 自然実生  
自家栽培金魚葉椿下



わまつ  
我松椿

2020年 自然実生 美等  
母(みとも・赤大輪)?



ふかざる  
不吹有

グリーンファーム  
椿切花(種子)の実生



わぎもこ  
吾妹子椿

2007年京都植物園  
採取実生 種親木不明



はやみはまかせ  
早見濱風

2016年9月  
蔦紅葉実生

上記2種は移植していません。  
親樹の「蔦紅葉(つたもみじ)」を移植しています。

第七巻：あしひきの山椿咲く八峯越え

原文：足病之 山海石榴開 八峯越 鹿待君之 伊波比孀可聞

作者：不明

よみ：あしひきの山椿咲く、八峯(やつを)越え、鹿(しし)待つ君が、斎(いは)ひ妻かも

意味：山椿が咲いている山々を越えて、あなたが鹿を捕らえて帰って来るのを、私は慎んで待っていますよ。



つばき  
海石榴

2016年 秀蘭(しゅうらん)  
実生(自家栽培)



やつを  
八峯椿

年不詳 自然実生  
(自家栽培・式部?)



しまつきみ  
鹿待君

年不詳 自然実生  
(自家栽培)



いはひつま  
伊波比孀

2011年自家栽培種  
(玉の浦)の実生



つばき  
ツ婆伎

2015年 絞臘月(しぼりろうげつ)  
実生(京都植物園)  
徳島市観音寺出土木簡  
の記載より命名

第十三巻：三諸は人の守る山本辺は馬酔木花咲く

原文：三諸者 人之守山 本邊者 馬酔木花開 末邊方 椿花開 浦妙山曾 泣兒守山

作者：不明

よみ：三諸(みもろ)は人の守(も)る山、本邊(もとべ)は馬酔木(あしび)花咲き、末邊(すえべ)は椿花咲く、うらぐはし山そ泣く兒(こ)守(も)る山

意味：三諸山(みもろやま)は人が大切に作る山。ふもとには馬酔木(あせび)が咲き、頂上には椿が咲く、美しい山。泣く子どもをあやすように皆が大切に作る山。



すえべ  
末邊方

自家栽培 赤花秋の山の  
実生



うらぐはし  
浦妙椿

2013年自然実生  
(親不明)



なくこもり  
泣兒守

比良G 酒吞童子  
(しゅてんどうじ)?